

刊夕日五廿月一十



定価 一部金五銭  
 廣告料 五銭 十二字 五銭 一行 五銭 五字 五銭  
 日曜 祭日 休刊  
 発行所 常盤屋日新聞社  
 印刷所 常盤屋日新聞印刷局

### 救護法に就て [六]

平町共済委員 門傳清吾 辯護士

**第二章 救護機關**  
 本章に於ては、本法に於て救護すべき機關に付き規定してある。之を總括的に説明すれば、救護機關は市町村長が主體となつて居る、而して補助機關として、委員を置く事になつて居る。以下便宜上規定を掲示して説明する。

**第三條** 救護は救護を受くべき者の居住地なき時又は、居住地分明ならざる時は、其現在の市町村長之を行ふ。

と規定しありて、別段疑義もないのであるが、言を換へて説明すれば、市町村長は其管轄市町村内に居住する者、及居住地なき時、又は居住地分明ならざる現本者にして、第一章に述べた各條件を具備した被救護者を救護することになるのである。此場合注意的に説明を要すると思ふのは、第三條中の居住の意義である。即ち居住とは、一定の場所に永続的に生活の本據として、居住することを言ふので、本籍地(戸籍のある場所)とか、一時

的居住地(別荘とか、病氣療養の爲め住居するが如し)とか、現在地(即ち現在居る所)を包含せないのであることに注意を要すると思ふ。

**第四條** 市町村に救護事務の爲め、委員を設置することを、委員は名譽職とし救護事務に關し市町村長を補助す。

とある此規定は救護補助機關を定めてあるが、此委員と云ふのは、現在の共済委員、或は方面委員に該當するのである。委員は其待遇が名譽職であつて、社會に對し奉仕的に救護事務を執行するの職務を有するものであるから、給料や、手當等は全然なく、唯救護事務執行に關する實費だけを支持せらるゝに過ぎないのである。右の如く委員は市町村長の補助機關の如くなつて居るが、然し實際に就いて、論及すれば市町村長は救護機關に對する責任者であるから、其職責の重大なるは勿論なるも、市町村長は自ら其制度上より來れる本格

的なる行政上の複雑多數の繁劇なる事務に忙殺せられて居るから、寧ろ補助機關たる委員の任事が被救護者に對する直接關係に就て最も意義あり重要な地位を占めて居るのであるから、其職責の重大なることを自覺し、社會的に大いに活躍せねばならぬと思ふ。次に

**第五條** 委員の選任解任在務執行其他委員に關し必要な事項は命令を以て之を定む。

とある、即ち之は一般人の知らねばならぬ事項ではないから、茲に述べる要はないと思ふけれども、概説すれば、從來の方面委員同様府縣知事が任命解任の權能を與へられ、其職務執行其他に關しては、委任事項として、縣令として、發布せらるゝこととなるであらう。

然し委員は本法以前の社會事業に従事する事が出來ないものではなく、寧ろ項護法の及ばぬ所を補充する爲め、社會事業に従事する事を歡迎することになるのである。

從來の共済委員、或は方面委員は本法施行と同時に、消滅することになるが、任命に當りては、從來經驗ある者を任命する

ことになるであらうと思ふ。

但し任命に當りては、人格の高潔な、そして、護法の精神を過誤なく運用し、活用し得る適任者を挙げねばならぬと思ふ、夫れは從來の共済委員にして、其人格や地位を政争の具に悪用したり、或は自己の職業的勢力抉殖に供用する等却て社會に害悪を流布して居る者あるに徴しても、其任用に當りての人選に重要性があるからである。(終)

昨紙一部訂正  
 一段一行目「第三」は「第二」十一行目「此」護者」は「被」護者」十五行目「本」人をして「社會」的に有能ならしめ「社會」の健全なる「脱落」二段十六行目「第四」は「第二」三段二十五行目有する「者」或は「特定」の病者に對する「脱落」

### 器灸温ムウチラ

醫學博士廿推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症  
 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

特卸治 福島縣平町五ノ廿八 志賀齒科醫院

約代理 福島縣平町白銀町九 産婆 關口悦子

賣部 金拾參圓 藥及特効サツ五週分付 上製桐箱入一揃

定價表 金拾圓 藥及特効サツ五週分付 上製桐箱入一揃 (説明書呈)

御希望通りな 五冊の雜誌が 自由に讀める

川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書呈)

院醫吹矢 科兒小科内 科病柳花 古鍛治町縣社通 番六六二電

### 正確の時計

お客様本位の

好適の眼鏡

平町常盤屋時計店

### 革靴自製部新設

注文靴 修繕靴 親切丁寧 請合

高級ゴム長靴 マルトモビル内  
 五圓均一靴 菊地靴店  
 各種靴類 電話呼四三六番

冬服衾心

紺色柄物...三ッ揃...拾貳圓  
 最新柄...三ッ揃...拾三圓五十錢  
 最新上級品...三ッ揃...拾六圓五十錢  
 高級品...三ッ揃...拾九圓

平町正札堂洋服店 電四三六

# 草野氏敗れ

## 菊池島嶺長當選

### 赤井村長選舉

きのふ一先づ解決す

村長問題を繞つて若松、草野、田久の各派がそれ、對立し紛糾また紛糾と約半歳に亘つて各方面から非常な興味をつながれてゐた赤井村の村長選舉村會は昨廿四日午後一時から同村役場内に開會

高木、矢野、柴崎、鈴木、甚二草野、菊池、木田、羽賀、鈴木隆、鈴木義、田久

の各村議參集し劈頭村長選舉に入り決選投票の結果  
六点、菊池徳太郎  
五点、草野三郎  
の意外な結果にて福島炭礦々々長菊池氏が當選し茲にさしも紛糾を極めた同問題も一段を告げたが

菊池氏は從來から草野氏擁護派にあつた爲め今回の選舉は各方面に對し意外の感をも與へたもので探聞するに村會前日廿三日夜若松派における協議の結果目下の紛糾收拾の意味において若松兩氏の妥協となつたもので遂に草野田久兩派の提携も敗れ若松派の勝利となつた

### 菊池氏語る

村長に當選した菊池氏は「そいつまでも決まらな

### 菊池氏は漸定的か

別項若松派との妥協によつて村長に當選した菊池福島炭礦長は同日の村長就任挨拶や其他前後の事情から考察して今回の紛糾を一先づ收めるため漸定的のものとして観る向きが多く同氏も今後適當の機會に辭任し適任者に圓滿譲る腹であるらしい

### 戸數割も賦課決定

#### 「若松氏は村民なり」

草野氏これを不當と

#### 更に縣參事會へ

昨廿四日開會の赤井村會において村長選舉に次いで問題視されてゐた若松美三氏に對する戸數割賦課の當否に就き協議されたが草野派は飽くまでも純理論的意見から賦課を不當となし若松派また之を反駁し容易に決しなかつたが最後に堂々めぐりの結果六對五にて、草野氏の主張も遂に容れられず同問題も漸やく片附いたが草野氏は單に村會の決議を以てのみ同問題は正當に解決されたものに非ずとし近く村會を経て縣參事會に對し賦課の當否決定を陳情すべく目下準備中にある

### 役馬共進授賞者

相馬郡原町に開かれた農林省及縣農商課の主催する第五回福島縣役馬共進會に本郡より出馬した四倉町の佐

### 四倉荷馬車組合

石城郡四倉町の荷馬車組合では廿六日午後一時より四倉會館に總會を開催終つて石城畜産馬組合の石山技手の講演を行ふと

### 農具

#### 競技打合

明廿六日に

既報平町團體事務所東隣に廿七日開催される郡農會の動力農具競技會の準備も殆んど決定を見たので明廿六日各役員、審査員及び縣農會廣瀬技手出席の上團體事務所にて打合せ會を行ふと

### 伏見町長が

若松へ出張

伏見平町長は廿六日若松市主催の自治振興座談會出席の爲め本日下午二時十五分平驛發列車にて出發した

### 新酒仕込を目前に

#### 持酒續々亂賣

四苦八苦の郡内酒造家

#### 資金難の悩み

郡下酒造業者は現在賣掛代金の未回収に悩まされる上に在庫酒の賣行も悪く極度の資金難に陥つたが

十月末日納期の第三期酒造税は平稅務署當局の斡旋で勸動より六千圓の低利資金を借入れ辛ふじて完納したもの、大部分の當業者は凡ゆる無理算段を重ねて來る揚句新酒の

めな相場で取引されてゐるので斯くては當業者は全く共倒れの運命に陥るのであるまいかと酒の投資防止に腐心してゐる

### 鈴木道治氏

評議員當選

縣農會評議員鈴木道治氏は昨廿四日開會の縣農會臨時總會にて評議員に當選した

### 平町の清涼水製造

#### 益々減少する

地方産は歓迎されず

最近製造高と砂糖量

平町に於ける清涼飲料水の製造元は二軒あるが不況の痛手を受ける一方に如何に優良品を格安に造ると雖も一般に地方製造を喜ばざる傾向ある爲め年々中央製品に壓倒されて製造高が減少を示して居る是れを平町役場調査に係る數字の示す所に依れば

年度	製造高
四年度	三九二石
五年度	三四五
六年度	二二一

であり是れが爲めに使用する砂糖の數量も

年度	砂糖量
四年度	二二〇五貫
五年度	二二二三
六年度	一五一一

### 國稅滯納處分

#### 今月末終了

平稅務所では管内三十四ヶ

### 草野校増築

工費八千五百圓

#### 鈴木組請負

草野村では明年度就學兒童の極度に増加したので教室の不足を感じ今回工費八千五百圓で四十坪二建校舎を増築することになり同村鈴木組が請負つた

### 桑園改良

約七十町歩

石城郡養蚕業組合では昨年荒廢桑園改良の低利資金を借り入れ約六十町歩に亘る荒廢桑園の改良を行ひ優良改植苗を供給した結果今年の春、夏、秋蠶は意外の成績をおさめて養蠶家の益するところ甚大であつたのに鑑み今年も約七十町歩の荒廢桑園を改良する事となり目下調査中である

### 往來

- △石川縣議 廿四日午後二時十五分福島行
- 井上、赤坂兩縣議同日午後四時四十五分同右
- △萩原縣議 廿五日午前三時二十分岩沼經由同右
- △野崎縣議 同日午前五時四十二分同右

### 平町人事

#### 回出生

- △白銀町三八高橋千代子長男一男
- △八幡小路五七 加藤留吉氏六男吉男
- △田町六〇 新幸之助氏五男文男
- △長橋町一六齋藤喜三郎氏二男誠
- △長崎町三二山崎宗之助氏六男崇明
- △新川町六野木繁彌氏三男昭

#### 回死

- △四丁目二六猪狩利氏(二七)
- △村木町三五 小林キム(三八)
- △古殿治町八 小野光子(二七)
- △南町五八 西坂清吉(四〇)

### 學校衛生

#### 協議事項決定

昨報明廿六日午前十時より平第二小學校に開催される縣主催の學校衛生視察研究會には縣衛生課小野寺技手出席同校内の衛生施設を見學午後一時より研究會に移り左の事項を協議すると

- △本校衛生施設及研究調査事項の發表
- △郡内各學校の特殊研究調査の發表
- △參加者各自意見交換

### 入營美談

## 主人の情に

## 親子感謝の涙

國家有事の際

『あとは萬事引受けた』

平町七丁目正木建具店方店員馬場金一郎(三)君は來月朝鮮羅南野砲隊第十五聯隊に入營することになつてゐるが

同君の家庭は實父金太郎(五)が病身で六人の子供を養育してゐるが唯一の頼みは前記金一郎君の双肩にあるので今回の入營に依り親子七名は路頭に迷ふより他致し方ないと諦めてゐたが

### 警中出身(軍令部出仕)

## 高木中佐歸朝講演

廿八日平署會議室に

石城郡大野村出身海軍々令部出任海軍中佐高木武雄氏は昨年來軍令部より海外視察の爲め歐米へ派遣されて居たが數日前無事歸朝されたので同氏の出身校たる磐城中等學校有志は是が歓迎を兼ね廿七日午後五時より平署會議室に於いて同氏の軍事講演會を行ふ事になつた

### 警中父兄會

縣立磐城中等學校では明二十六日午後一時から同校に生徒父兄會を開くと

### 坑夫長屋に

## 火藥類隠匿

犯人逮捕す

石城郡内郷村大字宮字峯根坑夫長屋十五號居住磐城炭礦坑夫笠井喜作(四七)は本年六月以來坑内作業に使用した火藥の殘餘を自宅に持歸つて居る事を其筋に探知され昨二十四日笠井の自宅を搜索した結果鑛山用火藥八本同雷管八本及び導火線二十尺餘を所持して居たので

平署に引致嚴重取調中  
八十近い

## 老婆の家出

息夫婦との折合ひ悪く

田村郡三春町字中町渡邊正次の母トキ(七九)は息子夫婦

## これも世相

## 台所に忍び込み

たきたての御飯三升

石城郡好間村大字上好間字荷下鈴木芳吉方で昨夜六時頃煮たての御飯三升余を家人の眼をしのんでパク付いてゐる男を同家の子供が発見し直ちに平署に檢束されたが同人は南會津郡伊北村字只見生れ住所不定目黒平三郎(四三)で數日前窃盜一ケ年の刑を終へ福島刑務所を出て平町に流れ込むうち舉動不審で檢束されたが何等罪状もないので廿四日朝釋放したが其足で好間村方面に行つたらしく働き口も見當らぬので前記の犯行をやつたものであると

正午頃狭い留置場内で大亂闘となつた  
事の初めは晝食の時草野が係官に對し「辨當を二本下さい」といふので「何故だ」と聞くと「今朝は此の野郎が俺の分まで平げて了つた爲め俺は今朝から何も食はない」と申立てたのを傍で聞いてゐた金萬甫が

## 兒童作品

きのふ發送

石城郡飯野村小學校兒童は同村出身者にて目下滿洲守備隊員として活躍して居る山崎一好、小野豊、白土榮松、志賀與三郎の四名に對し慰問すべく生徒の書方及綴方等を廿四日同小學校より發送したと

## 四倉町

## 慰問寄贈

各團體奔走

四倉町では今回同町役場に新妻町長青年團在郷軍人分會、町有志學校職員、婦人會聯合で在滿兵慰問方法を協議し極力寄附をあつめ適當な慰問品を兩三日中に發送することに幹部は目下各方面に募集中である

## 松村醫師の愛禽が

## 日本一の折紙付く

平町南町松村醫師長  
松村鐵郎氏の愛禽カナリヤ玉獅子は本年六月水戸市に於て及び本年十月茨城縣無間町に於て夫々優等賞を受けたが更らに去る廿三日には東京市淺草區藏前植木屋に開催された日本一の權威ある小鳥會と目される、全國卷毛カナリヤ會に於て三度優等賞を獲得するの榮譽を擔ひ純金メダル及び其他賞品を授けられ大いに磐城斯界の誇りを感じしめた

### 明日のラジオ

廿六日

今晚は北東の風  
曇り明日は北西  
の風天氣次第に  
よくなる

今晚の部  
後六〇〇 お話「坂田金時の生れたところ」古見一夫  
後六三〇 英語講座 村岡博  
後七三〇 講演「震災一週年に際して」鶴澤憲  
後八〇〇 連續講談「築城問答天守閣」終席 旭堂南陵

明日の部  
後八、四〇 義太夫「紙子仕立兩面鑑」竹本駒太夫  
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

後〇、〇五 音樂「コロコロ」  
獨唱野崎住子 及三重奏  
後二、〇〇 全日本軟式野球大會  
後六、〇〇 お話「幸福の神」君島哲壽 合唱「平和」  
其他  
後六、三〇 英語講座 上井磯吉  
後七、三〇 講演「祖先の心祖先の道」清原貞雄  
後八、〇〇 民謡「莊内おばこ」鶴岡小唄「莊内音頭」鶴岡藝妓  
後八、三〇 小唄 小林喜舞外  
後八、四五 映畫物語 仙石雷蹊

## 赤誠の慰問かすく

## 飯野校で

## 兒童作品

きのふ發送

石城郡飯野村小學校兒童は同村出身者にて目下滿洲守備隊員として活躍して居る山崎一好、小野豊、白土榮松、志賀與三郎の四名に對し慰問すべく生徒の書方及綴方等を廿四日同小學校より發送したと

## 可憐、小兒の就職戦

本日から性能試験執行

平町職業紹介所では既記の如く郡内各小學校の就職希望兒童に對し性能試験を今明兩日平町役場會議室に於いて行ふが本日は湯本、平第三、好間、四倉各四校の兒童三十三名に對して執行明日も殘る卅名を試験する

## 松村醫師の愛禽が

## 日本一の折紙付く

平町南町松村醫師長  
松村鐵郎氏の愛禽カナリヤ玉獅子は本年六月水戸市に於て及び本年十月茨城縣無間町に於て夫々優等賞を受けたが更らに去る廿三日には東京市淺草區藏前植木屋に開催された日本一の權威ある小鳥會と目される、全國卷毛カナリヤ會に於て三度優等賞を獲得するの榮譽を擔ひ純金メダル及び其他賞品を授けられ大いに磐城斯界の誇りを感じしめた



